

全国地理教育学会第 14 回大会 大会要項（第 2 報）

大会テーマ

現代の人口問題と地理教育・社会科教育における課題と扱い

大会は、シンポジウム及び総会をオンラインで開催いたします

1. 期 日 2020年11月22日（日）
2. 主 催 全国地理教育学会
全国地理教育学会事務局：〒114-8574 東京都北区中里3-12-2
女子聖学院中学高等学校 柏倉康成
URL: <http://www.jageoedu.jp>
E-mail: y_kashiwakura@joshiseigakuin.ed.jp

大会委員会：牛込裕樹（委員長），小林正人，松岡路秀
針谷重輝，藤田 晋，宮本静子，山内洋美
日下部和宏
E-mail: taikai@jageoedu.jp
3. 参加費 無料
4. 期日、時程 11月22日（日）14:00～17:00 シンポジウム
17:10～17:50 総 会
5. シンポジウム オンライン（Zoomによる）で行います。

Zoom ミーティングに参加するID、パスワードは後日お知らせします。

テーマ：現代の人口問題と地理教育・社会科教育における課題と扱い

現代の日本・世界は、人口減少、少子高齢化、人口一極集中、人口増加などの新しい人口問題に直面している。これら新しい人口問題に地理教育・社会科教育はどのようにアプローチしていくべきだろうか。その1つとして、地域スケールごとに考察していくことが考えられよう。地域社会の人口問題、日本の人口問題、世界の人口問題などである。また、国内各地における外国人居住という問題も広くは人口問題であり、これは、移民の問題、多文化共生という大きな問題とも絡んでくる。

以上から、本シンポジウムでは、地域社会、日本、世界というスケールを踏まえ、それぞれの人口問題について、地理教育・社会科教育における課題と扱いという観点から検討する。4つの発表のうち、①と④は地域社会の人口問題、主として小学校段階、②は日本の人口問題、主として中学校段階、③は世界の人口問題、主として高校段階を想定している。

発表（発表時間、各 20 分）

①岡田良平（大阪府泉南郡岬町立深日小学校）

小学校における地域資源を活用した地理的学習の意義と課題-「ひと・まち・つながる教育」を事例として-

②菊地達夫（北翔大学短期大学部）

人口減少社会の地理教材化の視点について

③永田成文（三重大学）

世界の人口問題の解決の方向性を考察・構想する高等学校における地理ESD授業-人口転換による人口ボーナス期と人口オーナス期に着目して-

④木村秀雄（群馬県大泉町立西小学校・非会員）

外国人集住地域の実態と社会科教育における課題と扱い-群馬県大泉町の事例を中心に-

総合討論 約 60 分

オンライン ホスト

佐藤浩樹（神戸女子大学）

オーガナイザー

佐藤浩樹（神戸女子大学）

牛込裕樹（大妻中野中学校高等学校）

6 総 会 オンライン（Zoomによる）で行います。

7 一般研究発表について・・・一般研究発表のオンラインでの発表はありません。

一般研究発表を希望されていた方については、『地理教育研究』第 28 号（2021 年 3 月発行予定）に、1～3 頁（例年の場合は 1 頁）の発表要旨を掲載することによって、発表をしたことに代えさせていただきます。

執筆要領は、例年の発表要旨の場合と同じです。査読は原則としてありません。

原稿期限は 2020 年 10 月末日です。

原稿送付先は、全国地理教育学会大会委員会です。第 14 回大会発表要旨と明記してお送りください。原稿はメールにてお願いします。

原稿送付先メールアドレス 全国地理教育学会大会委員会 E-mail:taikai@jageoedu.jp

8. 問合せ先

大会専用メールアドレス taikai@jageoedu.jp

学会大会委員長 牛込裕樹 090-1846-3359